

宍道湖水環境改善協議会 設立宣言

私たちが暮らす宍道湖とその流域の水は、全国有数の漁獲量を誇るヤマトシジミをはじめ地域の農作物や水産資源を育み、また夕日スポットや自然館ゴビウス等の水辺利用など様々な恩恵を与えてくれています。また、宍道湖は国内で3番目の大きさを誇る代表的な汽水湖であり、ラムサール条約湿地にも登録されている湖です。

全国にある汽水湖や、湖沼水質保全特別措置法による指定湖沼の中では、宍道湖におけるCODは比較的低い値となっています。しかし、下水道の普及率が向上し汚濁負荷量が減少しているにもかかわらず、CODの経年変化は横ばい傾向にあり、水質は改善されない状態が続いています。

この問題について、宍道湖の美しい自然の姿を取り戻し、豊かな自然環境を子どもたちの世代へ引き継いでいくためには、宍道湖とその流域の住民・企業・団体・行政が一体となり、知恵を出し、力を合わせて水環境の改善に挑戦すること、そして一つ一つできることから行動を起こし、流域全体で取り組みを行いながら持続可能な循環型社会の形成を目指すことが必要と考えます。

「宍道湖水環境改善協議会」は、このような取り組みを推進することにより、宍道湖とその流域の水環境改善を図ること、恵まれたこの自然環境と湖を愛する気持ちを後世に残し伝えることを目的として、設立するものです。

(協議会スローガン) 「宍道湖だんだんプロジェクト」
(水が) だんだんきれいに
(水辺が) だんだん楽しく
(宍道湖の恵みに) だんだん、だんだん